

制作者：杉原厚吉

所属：立命館大学「さっかくを見る試す遊ぶ学ぶ知覚心理学ラボ」プロジェクトメンバー

（本務は、明治大学先端数理科学インスティテュート）

連絡先：kokichis(at mark)meiji.ac.jp

作品のタイトル：鳴門の渦潮

作品の解説：

1枚の静止画なのに場所ごとに違う動きが見えてきます。脳内の動きを検出する細胞はエッジに垂直な方向の動きに敏感なため、エッジ方向がそろった領域は同じように動き、エッジ方向が異なる領域は違うように動いて見えるのだと考えられます。この仕組みはオオウチ錯視と同じですが、エッジは直線より曲線の方がより多くの動き検出細胞を刺激することができて錯視が強まるのだらうと私は理解しています。